

代表質問・一般質問

市の明日を考える!

3月定例会では、3月2日に5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。また、3月3日及び6日の2日間にわたり、9人の議員が一般質問を行いました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、質問時間を一人40分以内に短縮し議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読み取っていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



佐藤 有

[真誠会]

代表質問

総合計画の進行状況は
杉内多目的運動広場整備事業は

問 総合計画がスタートしての進行状況と総合評価及び中間見直し等について伺う。

答 令和3年度から10年間を計画期間とし、4つの基本目標を掲げ、全ての政策、施策、事業の根拠となる最上位の行政計画である。各基本目標ごとに整理し、財政計画と合わせ実施計画を策定し、事業効果を考慮しながら、毎年ローリング方式により見直している。なお、社会経済環境や市民ニーズ、行政課題等により令和7年度を目安に中間見直しを行う予定である。

問 杉内多目的運動広場の設備設置内容は。

答 本体工事は今年中に完成。人工芝の公認サッカーコート2面、そのうち1面に夜間照明を設置、アップコート、天然芝広場、管理棟、屋外トイレ2棟を完備。来春オープンを予定している。

完成が待たれる
杉内多目的運動広場



代表質問

再生可能エネルギー推進事業は
医師確保対策事業は



鈴木 一弘

[みらいの風]

問 市内で発電された電力の運用や市民への還元と二本松電力創設に向けた今後の展望は。

答 運用については、売電目的の電力の多くが再エネ固定価格買取制度（FIT）による売電をしていると推測するが、市では令和元年度以降の卒FIT案件に対応するため、蓄電池への補助を実施している。市民への還元は実現できていないが、災害時に無償で電力を供給できる設備となっている。今後の展望については、電力卸売価格が高騰している状況で、

新電力会社の経営破綻が相次いでおり、事業参入は慎重に行うべきと考えている。

問 産科・小児科医を確保しようとした事業の進捗状況と今後の展望は。

答 寄附講座や研究費助成の応募は無いが、修学資金貸与事業では1名へ貸与を行っている。産科・小児科に限らず医師不足であることや、再開には施設の再整備が必要なため、締結している協定書から診療科の限定を解除し、地域医療体制の構築に必要な医師確保対策に改める。



本多 俊昭

[令和創生の会]

代表質問

ひきこもり者に対する居場所づくりは 学校給食費の1割負担は

問 ひきこもり者とは、人との交わりを避ける場所では生きられないという方が多いと思う。本人や家族が必要とする支援の取り組みを伺う。

答 市、社会福祉協議会、民間の支援団体、ボランティアの方々が連携し、月1回程度の「集いの場」を設けている。悩みや困りごとを抱えた方々が地域の様々な相談機関に的確につながっていきけるよう、積極的な情報の提供に努め、多種多様な課題を抱える人を見逃さず、

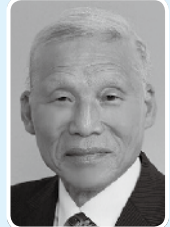
一人一人に寄り添う支援体制の強化に努める。

問 学校給食は、学校給食法により、保護者負担と定められているが、学校給食費1割補助を今後、持続的に継続できるか。また、無償化に向けて調査検討されるのか伺う。

答 学校給食費1割補助の持続的な継続及び無償化に向けての調査検討については、恒久的な財源確保などの課題があることから、軽々に判断することは避けるべきと考えており、政策的な判断により、検討されると考える。

代表質問

学校給食費の無料化は 安達駅周辺整備事業は



齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 来年度予算に給食費の保護者負担金の1割軽減、2,097万円が計上された。給食費の無料化及び一部無料化は、県内46自治体8割に広がっている。段階的な拡充と国、県への補助金の要請は。

答 継続的に多額の負担が生じることから、政策的判断を要する。全額補助の場合、約2億円の経費が必要。国には無償化に向けた制度設計と財源確保を、東北市長会を通して要望している。

問 安達駅周辺の整備事業について、経過と今後の整備計画は。

答 平成27年から約1.7haの用地を確保した。整備計画は「油井中央公園」として「芝生広場」と「支所東駐車場」の整備を予定している。都市計画道路「安達駅福岡線」の全体事業費は9億6千万円。引き続き用地買収を進める。安達支所側から川崎街道踏切までの県道整備は、令和5年度で不動産鑑定を実施して用地交渉に入る。「安達駅・源八坂線」は事業費3億5千万円。令和6年度から工事に着手し8年度に踏切への歩道設置工事で事業完了を目指す。



熊田 義春

[市政会]

代表質問

本市の財政は

問 過去3か年の地方交付税の交付額は。

答 令和2年度は、93億5,233万7千円、令和3年度は、95億6,710万8千円、令和4年度は、普通交付税は79億6,289万4千円で確定しているが、特別交付税及び震災復興特別交付税は今月下旬に交付額が確定となるため、地方交付税の全体額は未確定となっている。

問 過去3か年の市税収入額は。

答 令和2年度は、61億6,338万6千円、令和3年度は、63億4,508万6千円、令和4年度は

収入額が確定してはいないが、現時点での予算計上額で申し上げると66億9,973万3千円を見込んでいる。

問 過去3か年の財政調整基金の各年度末の残高は。

答 令和2年度末は、23億6,366万9千円、令和3年度末は、32億1,380万3千円、令和4年度末は、33億6,380万3千円を見込んでいる。